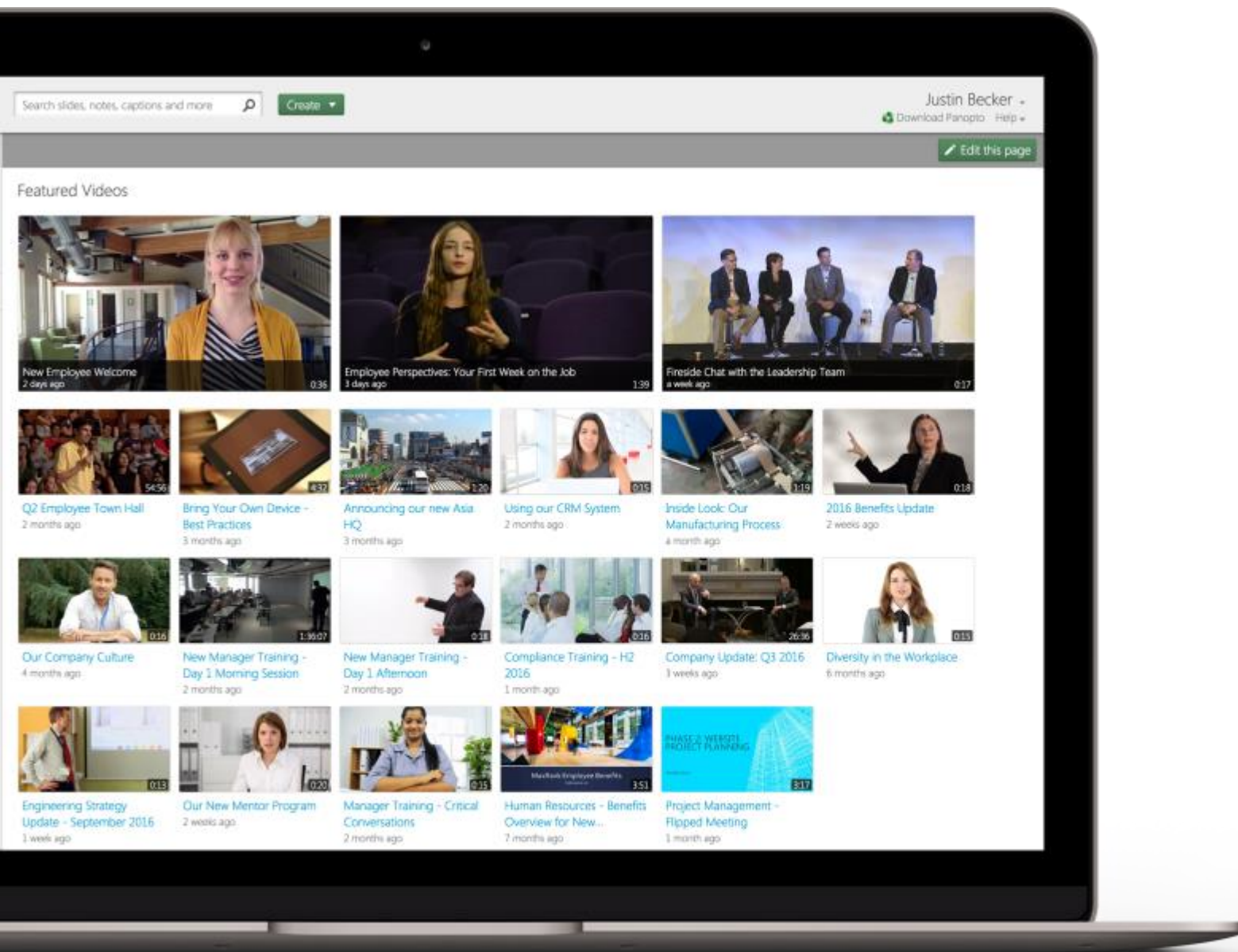




基本ガイド

- Zoom連携 -

パナソニック
システムソリューションズジャパン株式会社
2021年3月

更新日	更新内容	補足
2021/03/31	「Panopto_基本の使い方【06-Zoom連携】_ver1」初版リリース	
2021/07/16	項目「自動共有とルーティング」の一部不備を修正	

- ・ Zoom連携を設定する

Zoom側の設定・Zoom管理者アカウント

Zoom側の設定・Zoomユーザーアカウント

- ・ Zoom連携を使用する

収録

視聴

共有

共有・保存先設定

目的

Zoom連携により、**Zoomで記録されたすべての会議とウェビナーをPanoptoに自動的にインポートできます。**

デフォルトでは、動画はホストのメールアドレスに基づいてユーザーのマイフォルダに格納され、コンテンツとなります。

PanoptoがZoomホストと一致するメールアドレスをPanoptoユーザー情報内に見つけれない場合、動画はデフォルトで設定されたフォルダに格納され、コンテンツの共有リンクがホストにメール送信されます。

会議の収録動画を任意のフォルダにマップするための設定もご紹介します。

設定に必要なもの

Panoptoの管理者権限

※PanoptoとZoomの連携には、Zoom連携管理専用のPanoptoアカウントを使用することをお勧めします。

クラウドレコーディングが有効になっているZoom管理者アカウント（Pro / Business / Education / API / Enterprise）

※詳細については、以下のセクション2.4を参照してください。

Zoom連携は、Zoomのクラウドサービスが利用可能なお客様のみを対象としています。

※Panoptoにインポートされるのは、Zoom クラウドレコーディングの動画のみです。（コンピューターのローカルに保存されたZoom収録動画は自動連携不可）

Zoom連携を設定する

1. ズーム連携を設定する

1.1 Panoptoの管理者権限でログインし、
[システム]メニューを開き、 [ズーム統合]を選択します



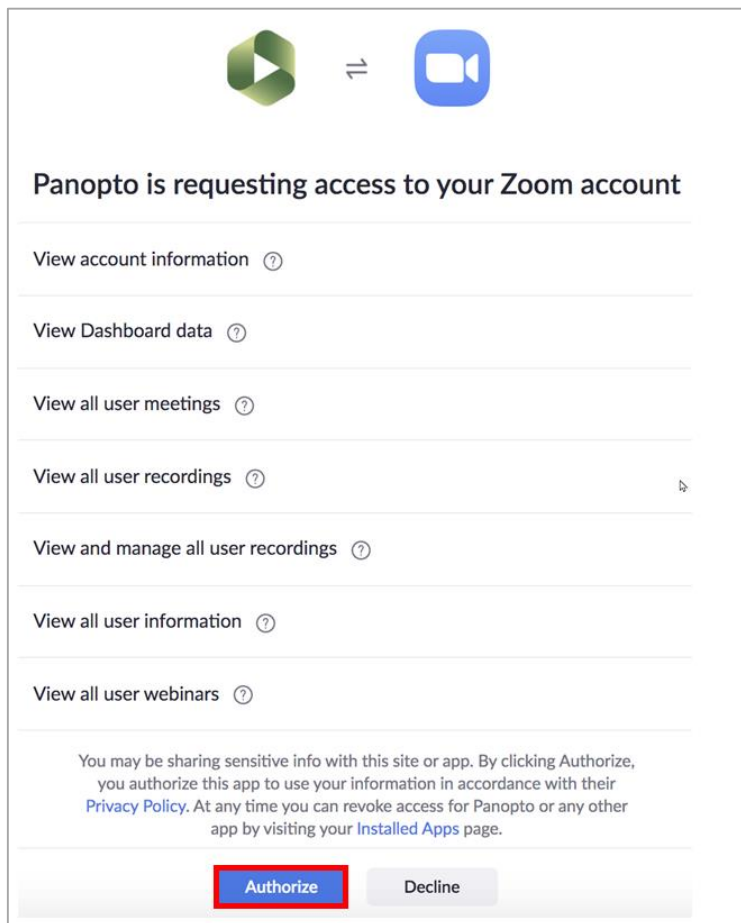
1.2 [インストール]を選択し ます



1.3 Zoomにログインしていない場合は、
Zoomのログイン画面が表示されます。
Zoom 管理者のログイン情報で[サインイン]します。



1.4 [承認]をクリックします。



▲[承認]ボタン

1.4.a 追加アクセス権限を持ったZoom管理者アカウントで設定する場合であっても、Panoptoは下記のAPI権限を超えてZoomコントロールにアクセスはできません。

詳細についてはZoomサポートに連絡いただき、Panoptoの連携に必要なAPIのリストを参照してください。

アカウント情報の表示/ account:read:admin

ダッシュボードデータの表示/ dashboard:read:admin

すべてのユーザー会議を表示/ meeting:read:admin

すべてのユーザーの記録を表示/ recording:read:admin

すべてのユーザー記録を表示および管理/ recording:write:admin

すべてのユーザー情報を表示/ user:read:admin

すべてのユーザーウェビナーを表示/ webinar:read:admin

Zoom連携を設定する

1.5 PanoptoとZoomが連携されます。

※この連携作業は1度のみ必要です。

通常、再接続が必要になるのは、現在のZoom連携が正しく機能していない場合、またはPanopto-Zoom連携に使用されているZoomアカウント情報を更新する必要がある場合のみです。

 Zoom統合

Zoom **学部

構成

Zoomに接続

☐ ログ

PanoptoとZoomを統合すると、Zoom録画が自動的にPanoptoにインポートされ、安全かつ検索可能で簡単に共有できるようになります。

ZoomをPanoptoに接続する方法について[詳細を表示](#)します。

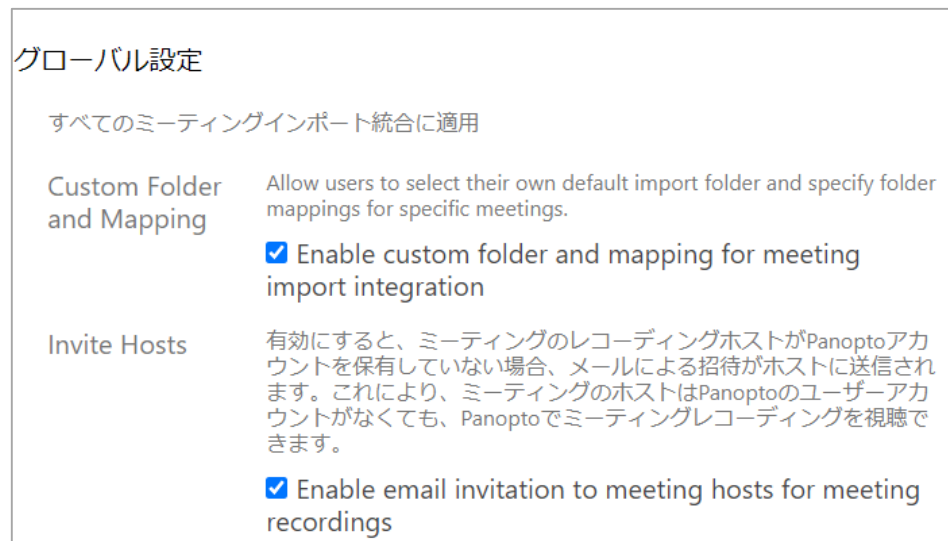
☒ 接続されました

Zoom用にPanoptoを再接続する必要がある場合は、下の「再接続」ボタンをクリックします。再接続は通常、現在の統合が機能していないか、PanoptoとZoomの統合に使用される資格情報を更新する必要がある場合にのみ必要になります。

再接続

2. Zoom連携設定を構成する

2.1 Zoom統合の[構成]を選択します。



グローバル設定：

(グローバル設定は、Panoptoサイト内のすべてのZoom連携に適用されます)

2.1.a カスタムフォルダとマッピング(Custom Folder and Mapping)：

☒ **会議のインポート統合のカスタムフォルダとマッピングを有効にする**
[Enable custom folder and mapping for meeting import integration]：

これは、すべてのZoom連携に適用されます。
チェックを入れると、ユーザーは自分でデフォルトの保存先フォルダーを選択し、特定の会議のフォルダマッピングを指定できるようになります。

Zoom会議のホストがPanoptoの保存先フォルダーを自分で指定できるため、定期的な会議の動画を常に指定のフォルダに保存し、会議の参加者にフォルダ内のコンテンツ視聴を許可しておくことで、スムーズに会議の動画を視聴することができます。

2.1.b ホストの招待 (Invite Hosts)：

☒ **会議の記録のために会議ホストへの電子メール招待を有効にする**
[Enable email invitation to meeting hosts for meeting recordings]：

これは、すべてのZoom連携に適用されます。
チェックを入れると、Zoom会議のホストがPanoptoアカウントを持っていない場合、Panoptoに格納されたZoom会議の動画の共有メールがホストに送信されます。
これにより、Zoom会議のホストは、Panoptoユーザーアカウントを持っていない場合でもPanoptoで会議の記録を表示できるようになります。

Zoom連携を設定する

2. Zoom連携設定を構成する

設定

今回のミーティングインポート統合にのみ適用

デフォルトのZoom録画フォルダー

このフォルダーには、Panoptoアカウントを所有していないZoomユーザーからのZoom録画がすべて格納されています。これらのZoomユーザーのメールアドレスをフォルダー名として使用して各ユーザーのサブフォルダーが作成されます。

フォルダーを選択するか検索キーの入力を開始

保存

許可されているユーザーグループ

☒ すべてのユーザーに対してZoom録画のインポートを有効化

Zoom LTI Proを介して録画スケジュールが設定されていた場合、この設定とは無関係にインポートされます。

☐ さらに、Panoptoアカウントを保有しないすべてのZoomユーザーに、Zoomレコーディングのインポートが可能となります。

2.1.c デフォルトのZoom録画フォルダー：

ここで指定したフォルダーに、Panoptoアカウントを持たないホストのZoom記録が格納されます。プルダウンから、任意のフォルダーを選択してください。

※Zoomの動画がPanoptoにインポートされると、ホストのメールアドレスが参照されます。会議の主催者（ホスト）のメールアドレスと一致するメールアドレスを持つPanoptoアカウントが存在する場合、Zoomの記録は該当するPanoptoユーザーのマイフォルダに格納されます。

会議の主催者がPanoptoアカウントを持っていない場合、デフォルトで指定されたフォルダの中に、主催者のメールアドレスがフォルダ名となったサブフォルダが自動作成され、その中にZoom記録が格納されます。該当のZoomホストがPanoptoアカウントを取得した場合、先ほど作られたZoom動画の格納フォルダーは、該当のPanoptoユーザーのマイフォルダーに移動します。

2.1.d 許可されているユーザーグループ：

☒ すべてのユーザーに対してZoom録画のインポートを有効化：

チェックを入れると、連携したZoomアカウントオーナーに紐づく全Zoomアカウントの収録動画のPanoptoへのインポートが有効化されます。

また、チェックを外し、テキストボックスを使ってユーザーグループを選択し、[グループを設定]を押すことで、任意のグループに対してのみZoom録画インポートを許可することも可能です。※選択できるユーザーグループは1グループのみです。

2.1.e 許可されたユーザーグループ：

☒ さらに、Panoptoアカウントを保有しないすべてのZoomユーザーに、Zoomレコーディングのインポートが可能となります。

チェックを入れると、Panoptoアカウントを持たないユーザーもZoom連携が有効になります。

※Zoom LTI Proを介して録画スケジュールが設定されていた場合、これらの設定とは無関係にインポートされます。

許可されているユーザーグループ

☐ すべてのユーザーに対してZoom録画のインポートを有効化

[すべてのユーザーに対してZoom録画のインポートを有効化]がオフになっている場合、選択したグループのユーザーによってホストされた会議のみがPanoptoにインポートされます。ユーザーグループは1つのみ選択できます。

⚠ ユーザーグループが設定されていない場合、すべての録画がインポートされます。

グループ

グループ 1

グループを設定 | キーボード

▲2.1.d グループ指定

2. Zoom連携設定を構成する

Zoom LTI Pro	有効にすると、ミーティングのホストが許可ユーザーの一部である場合のみZoomミーティングがインポートされます。これは、Zoom LTI Pro統合内で作成されたものであるか、ミーティングホストが作成したフォルダーマッピングに明確に一致したものです。 ☐ LTI Proからの場合、または有効なフォルダーマッピングを使用した場合にのみZoomミーティングを許可します。
アラートメールリスト	コンテンツ保持の通知のためのメーリングリスト。アドレスが複数ある場合は、カンマ区切りのリストとして指定できます。
録画を削除しますか？	有効にすると、録画がPanoptoに正常にインポートされた後、Panoptoが自動的に録画をZoomクラウドの【ごみ箱】に移動します。Panoptoでは、動画と音声文字起こしの両方がインポートされるまで、インポートが正常に完了したとはみなされません。正常にインポートされてから削除されるまでに最大96時間の遅延が発生し得ることに留意してください。 ☒ インポートの成功後Zoomから削除
自動共有	Zoomミーティングがインポートされると、Panopto関連アカウントを保有している組織内のミーティング参加者は、自動でミーティングを共有できます。 ☐ Zoomミーティングを参加者と共有します。 Zoomミーティングがインポートされると、Panopto関連アカウントを保有していない組織内のミーティング参加者には、Panoptoでミーティングを視聴するよう招待するメールが送信されます。

2.1.f Zoom LTI Pro :

☒ LTI Proからの場合、または有効なフォルダーマッピングを使用した場合にのみミーティングを許可します。

チェックを入れると、Zoom会議は、Zoom LTI Pro連携内で作成された場合、または管理者が作成したフォルダーマッピングと明示的に一致する場合にのみインポートされます。

2.1.g アラートメールリスト :

Zoom連携機能から通知を受信する必要があるユーザーのメールアドレスを入力します。複数のアドレスを入れたい場合は、半角コンマ[,]で区切ります。アドレスが入力されていない場合はPanoptoの管理者全員に通知されます。

2.1.h 録画を削除しますか？ :

チェックを入れると、Zoom会議の動画がPanoptoに正常にインポートされた後、Zoomクラウド内の動画データを自動的にZoom内のゴミ箱に移動します。

※動画のインポートからZoomのゴミ箱に移動されるまで、最大96時間の遅延があります。機能をオンにした場合、Zoom管理者設定の[ゴミ箱から削除されたクラウド記録の復元を許可する]を選択すると、削除されたZoomの記録は30日間ゴミ箱に残ります。インポートされた録画がPanoptoで利用可能であっても、インポートに小さな問題がある場合はPanoptoはZoomクラウドの記録を削除しません。ZoomとPanoptoの連携が予期せず停止した場合、インポートが遅れる可能性があります。最低7日間の記録を保管するのに十分なZoomストレージを保持することをお勧めします。

※現在、この設定を有効にすると、以前にインポートされた会議もゴミ箱に移動されます。Panoptoはこの問題を認識しており、修正に取り組んでいます。

2. Zoom連携設定を構成する

自動共有

Zoomミーティングがインポートされると、Panopto関連アカウントを保有している組織内のミーティング参加者は、自動でミーティングを共有できます。

☐ Zoomミーティングを参加者と共有します。

Zoomミーティングがインポートされると、Panopto関連アカウントを保有していない組織内のミーティング参加者には、Panoptoでミーティングを視聴するよう招待するメールが送信されます。

☐ 非Panopto参加者とZoomミーティングを共有します。

統合名

Zoom統合

構成

ログ

アラートメールリスト

Zoom **学部

d Time)

新しいZoom統合を追加

▲2.1.k Zoom連携設定のプルダウン

2.1.i 自動共有：

☒ Zoom会議を参加者と共有します：

チェックを入れた状態でZoom会議をインポートすると、Panoptoアカウントを持つZoom会議参加者に自動的に会議動画を共有します。

自動共有を機能させるには、Zoom会議の参加者は、会議の前に自組織のZoomクラウドサイトにサインインしておく必要があります。サインインしていない場合、Zoomは会議参加者のIDを追跡できず、その情報をPanoptoに渡すことができません。

2.1.j. 自動共有：

非PanoptoユーザーとZoomミーティングを共有します：

チェックを入れた状態でZoom会議をインポートすると、Panoptoアカウントを持たないZoom会議参加者に、Panoptoで会議を視聴するための招待メールが送信されます。

2.1.k. 統合名（Zoom連携の名称）：

1つのPanoptoサイトで複数のZoomアカウント連携を構成するために、Zoom連携の設定ごとに名称を付けることができます。

また、ユーザーは複数のZoomアカウントからPanoptoサイトにZoom会議をインポートできます。

Zoom連携の名称を保存したら、ページ上部のドロップダウンメニューに移動し、[新しいZoom統合の追加]を選択して別のZoom連携の設定を作成できます。

3. Zoomのシステム設定を構成する

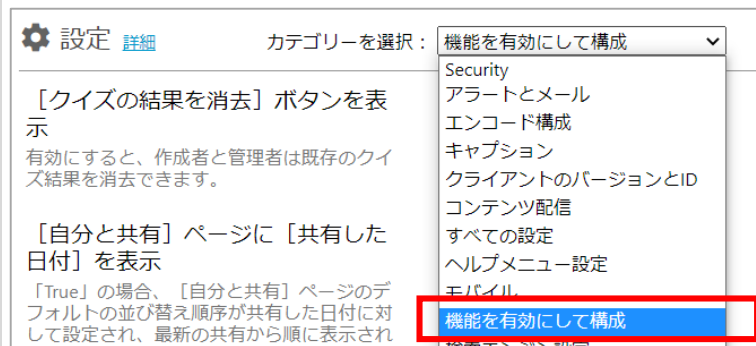
3.1 このセクションでは、Panoptoアカウントを持たないZoom会議の収録ホストが会議の動画を視聴できるようにしたり、PanoptoがZoomの文字起こし情報を収録用にインポートする設定をご紹介します。

画面左下の[システム]メニューを開き、[設定] を選択します。

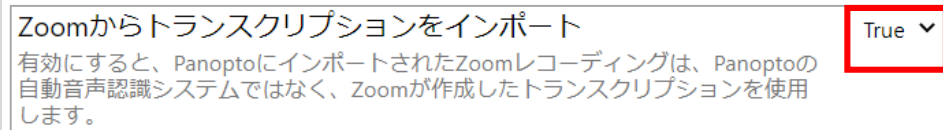


3. Zoomのシステム設定を構成する

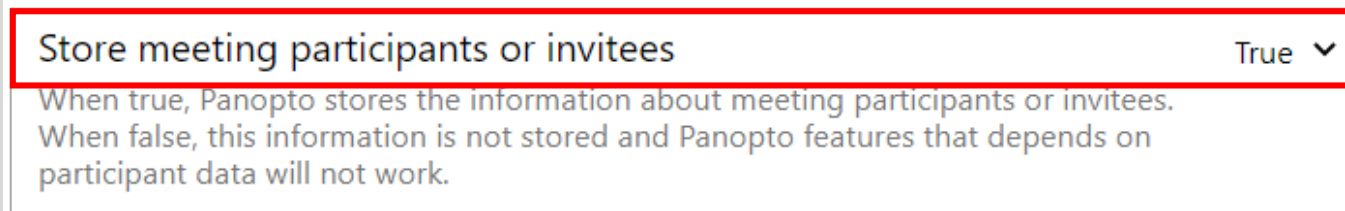
3.1.a [カテゴリーを選択]のドロップダウンメニューで[機能を有効にして構成]を選択します。



項目の中に、[Zoomからトランスクリプション（文字起こし）をインポート]があります。Trueに設定すると、PanoptoにインポートされたZoom動画は、Panoptoの自動音声認識システムを使用する代わりに、Zoomによって生成された文字起こしを使用します。

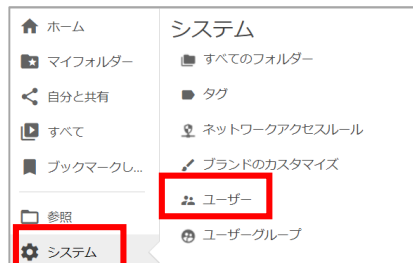


3.1.b また、[機能を有効にして構成]のメニュー内にある[Store meeting participants or invitees]（会議の参加者または招待者を保存する）をTrueに設定すると、Panoptoは会議の参加者や参加者に関する情報を保存します。保存された情報は、コンテンツ内の[詳細]に表示されます。



4. 定期的な会議の記録をユーザーのフォルダーにマッピングする

4.1 Panoptoサイト管理者は、ユーザーの特定のフォルダーへのZoom会議IDのマッピングを構成できます。
左下[システム]メニューを開き、[ユーザー]を選択します



4.1.a マッピングを構成するユーザーにカーソルを合わせ、[情報]を選択します



4.1.b 表示されたウィンドウの[情報]タブで、[ミーティングインポート設定]までスクロールします



4. 定期的な会議の記録をユーザーのフォルダーにマッピングする

4.1.c [新規を追加]を選択して、新しいフォルダーマッピングを作成します

ミーティング ID	フォルダー名	アクション
フォルダーマッピングがありません		
新規を追加...		

4.1.d [ミーティングID]の下テキストボックスに、Zoom会議IDを入力します。（※半角スペースは入れず、連続した数字を入力します）
[フォルダを選択]のドロップダウンから会議動画を格納するフォルダを選択し、[アクション]の下[保存]を選択してマッピングを保存します。

ミーティング ID	フォルダー名	アクション
フォルダーマッピングがありません		
966*****	フォルダーを選択	保存 キャンセル

ミーティング ID	フォルダー名	アクション
966	社会学A	削除
新規を追加...		

▲マッピング保存完了

※Zoom RoomデバイスでZoomミーティングを開始するユーザーが、Zoomに登録しているメールアドレスと同アドレスのPanoptoアカウントを持っている場合は、PanoptoにインポートされたZoom動画コンテンツの作成者権限を自動的に取得します。

Zoom RoomデバイスでZoomミーティングを開始するユーザーがPanoptoアカウントを持っていない場合は、Zoom連携のグローバル設定で決められた（本資料2.1.c参照）デフォルトフォルダーの直下に、そのユーザーのメールアドレスがフォルダ名となったサブフォルダが自動作成され、その中にZoom動画が格納されます。

5. Zoomアカウントのクラウドレコーディング設定の構成

5.1 ZoomにZoom管理者アカウントでサインインします

5.2 Zoomのメニューから、[管理者]>[アカウント管理]を展開し、[アカウント設定]を選択します



5.3 [記録]を選択し、以下の設定を有効にします。これらの設定を有効にすると、Panoptoは会議の再生を最適化できます。最後に[保存]をクリックします。



※教育機関のお客様は、学生の顔が録画されることを防ぐために、ギャラリービューを収録する選択肢はチェック解除を推奨いたします。

クラウド記録：

- ・共有画面でアクティブスピーカーを録画
- ・共有画面でアクティブスピーカー、ギャラリービュー、および共有画面をそれぞれ録画
 - アクティブスピーカー
 - 共有画面
- ・音声のみのファイルを記録
- ・ミーティング/ウェビナーからのチャットメッセージを保存

クラウド記録の詳細設定：

- ・録音に参加者の名前を表示
- ・サードパーティービデオエディター用に記録を最適化する
- ・パネリストのチャットを録音に保存

Zoom連携を設定する（Zoom側の設定・Zoomユーザーアカウント）

17

6. Zoomの個人アカウント設定を構成する

6.1 Zoomに、各ユーザーアカウントでサインインします

6.2 Zoomのメニューから、ツールバーの右上[マイアカウント]を選択します



ミーティングに参加する ミーティングを開催する ▾ **マイアカウント**

6.3 左のナビゲーションから、[設定]を選択します

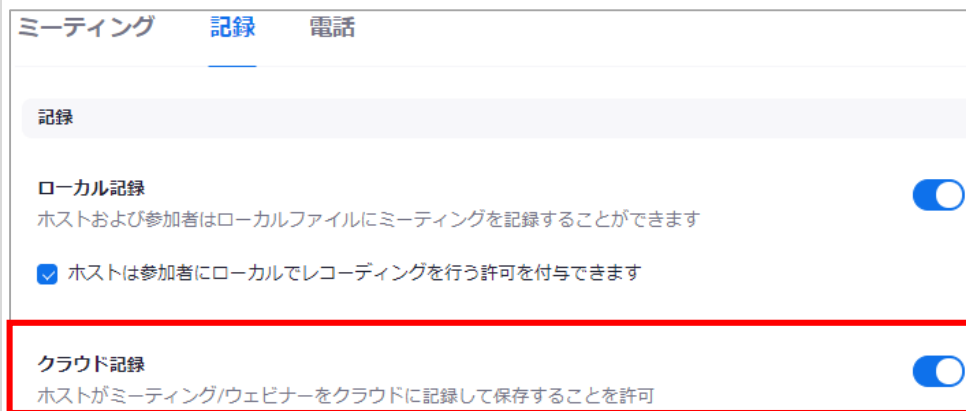


6.4 上部のツールバーから、[記録]を選択します

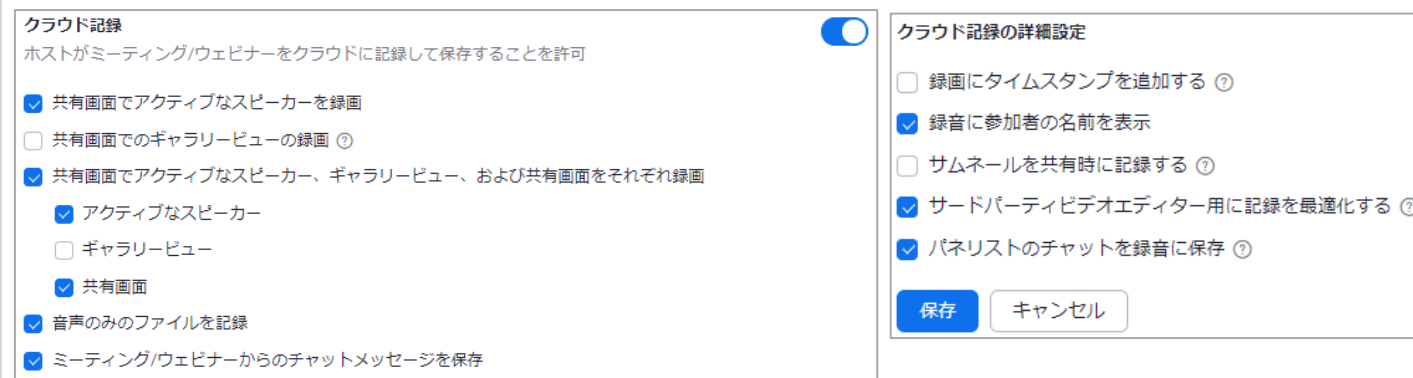


6. Zoomの個別設定を構成する

6.5 [クラウド記録]のトグルを右に移動させ、個人アカウントのクラウド記録を有効にします。有効にするとトグルは青色になります（無効は灰色です）。



6.6 以下の設定にチェックが入っていることを確認します。これらの設定を有効にすると、Panoptoは会議の再生を最適化できます。最後に[保存]を選択します。



クラウド記録：

- ・共有画面でアクティブスピーカーを録画
- ・共有画面でアクティブスピーカー、ギャラリービュー、および共有画面をそれぞれ録画
 - アクティブスピーカー
 - 共有画面
- ・音声のみのファイルを記録
- ・ミーティング/ウェビナーからのチャットメッセージを保存

クラウド記録の詳細設定：

- ・録音に参加者の名前を表示
- ・サードパーティービデオエディター用に記録を最適化する
- ・パネリストのチャットを録音に保存

7. スマートチャプターについて

7.1 スマートチャプターは、Zoom動画をPanoptoに格納する際に、目次とサムネイルによるインデックスを自動的に生成するPanoptoの機能であり、Zoom動画のインポートエクスペリエンス（Zoom動画インポート後の利便性）を大幅に向上させます。

スマートチャプターによって、ユーザーはPowerPointまたはKeynoteスライド内のタイトルやヘッダーに基づいて作成された目次により、動画の情報をすばやく閲覧できます。

たとえば、以下はZoom会議で表示されたプレゼンテーション（スライド）と、スマートチャプターで自動生成された目次です。画面共有されたスライド内に記載されたタイトルと目次が連動しています。



Microsoft 365	0:08
Microsoft 365 Rollout Plan	0:18
Budget Details	2:28
Frequently Asked Questions	3:34
Project Plan	5:42

7.2 PanoptoとZoom連携を最大限に活用するために、スマートチャプター機能を有効にすることをお勧めします。

スマートチャプターを有効にする方法については、記事「スマートチャプターを有効にする方法」を参照してください。

<https://support.panopto.com/s/article/How-to-Enable-Smart-Chapters>

※スマートチャプター設定は、Zoomのインポートだけでなく、すべての収録に適用されます。

目的

Zoom連携を使用する方法についてご紹介します。
PanoptoがZoomと連携された後、Zoomクラウドに記録されたすべての会議とウェビナーは、Panoptoライブラリに自動的に格納されます。

条件

Panoptoの作成者権限
クラウドレコーディングが有効になっているZoomアカウント（Pro / Business / Education / API / Enterprise）

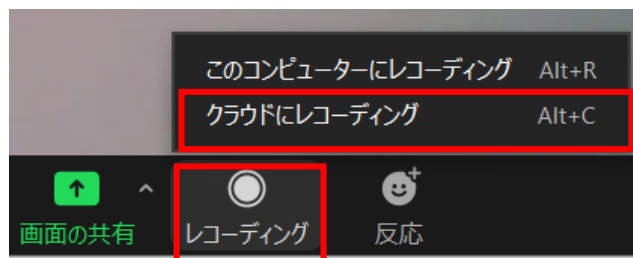
1. Zoom会議を開始する

1.1 Zoom会議に参加します。



2. Zoom会議をレコーディングする

2.1 Zoom会議に参加したら、画面共有を開始していない場合は[レコーディング]をクリックします。ローカルではなくクラウドに記録するようにしてください。



2.2 画面共有を開始している場合は、会議のコントロールパネルを開いて、[詳細]>[レコーディング]よりクラウドレコーディングを開始します



3. 停止または一時停止する

3.1 会議中はいつでも、レコーディングを停止または一時停止できます

Zoom ミーティング



4. PanoptoライブラリのZoom収録動画にアクセスする

4.1 Zoom会議が終了するか、Zoomレコーディングを停止すると、ZoomとPanoptoに自動的に収録動画がアップロードされます。PanoptoでZoom収録動画を表示する準備ができると、ホストにPanoptoから通知メールが届きます。



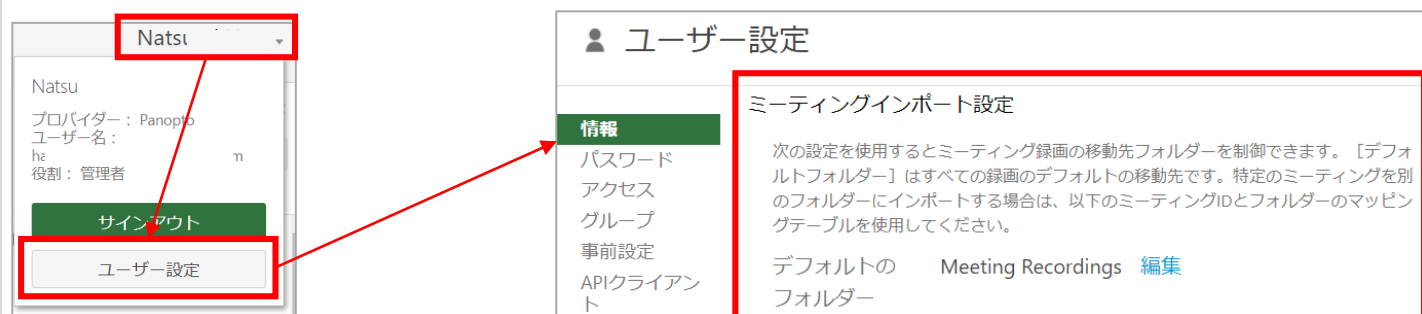
▲ Panoptoからの通知メール イメージ

4. PanoptoライブラリのZoom収録動画にアクセスする

4.2 **Zoom動画収録者がPanoptoにログインしたことがある場合**、Zoom収録動画はマイフォルダー内の[Meeting Recordings]というサブフォルダーに格納されます。

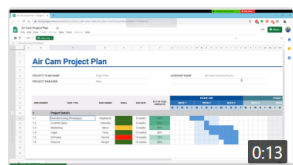


4.3 画面右上のユーザー設定からZoom動画の格納先フォルダーを変更できます。※Panoptoサイト管理者がユーザーのフォルダー変更を有効にしている場合のみ



4.4 **Zoom動画を収録したホストが、過去にPanoptoにサインインしたことがない場合**、Zoom収録動画はまずZoom連携のグローバル設定で決められた（本資料2.1.c参照）デフォルトのフォルダーに格納され、ホストには、Panopto内のZoom動画の共有リンクが記載されたメールが送信されます。ホストが初めてPanoptoにサインインすると、動画は自動的にマイフォルダ内に移動します。※動画が見つからない場合は、サイト管理者に連絡してください

4.5 収録したZoom会議の動画を選択し、表示します

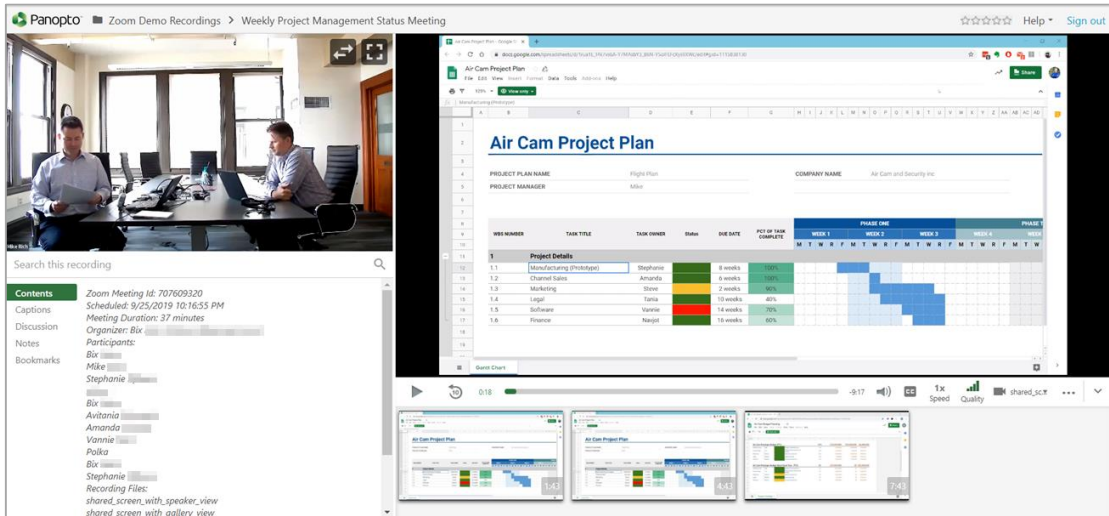


Weekly Project Management Status Meeting

7 months ago

5. Zoom会議の表示について

5.1 Zoom会議から記録されたビデオストリームは、可能な限り最良の視聴体験が提供できるよう、Panoptoの視聴フォーマットに自動配置されて表示されます



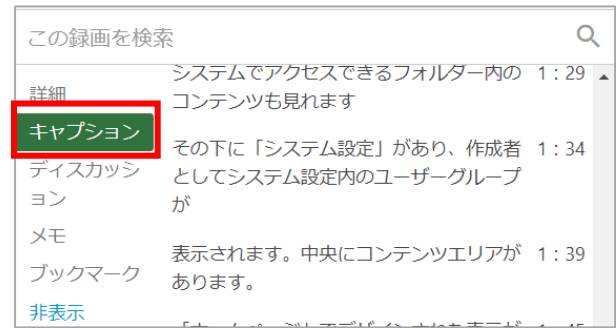
Create 作成

5.2 Zoom会議に関する情報はビデオの[詳細]に追加されます

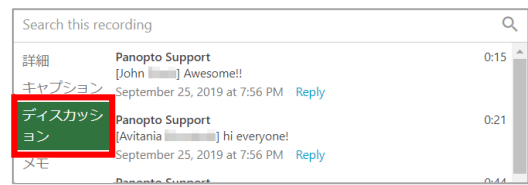


5. Zoom会議の表示について

5.3 Zoom会議で音声トランスクリプト（文字起こし）が利用できる設定になっている場合、Panoptoはそれらを字幕としてビデオに追加します。
※Zoomの文字起こし情報は、ビジネス/エンタープライズのZoomアカウントを持つユーザーのみインポートできます。



5.4 Zoom会議中にチャットが行われた場合、Panoptoはチャットをディスカッションエリアに追加します

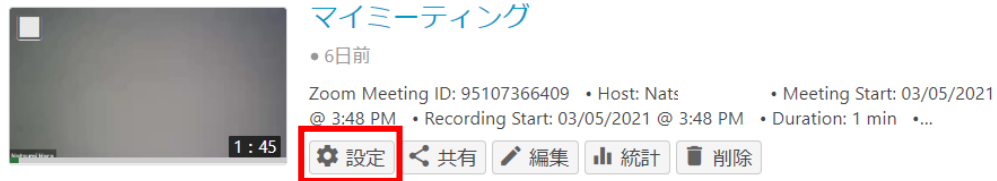


Zoom連携を使用する（共有）

6. Zoom会議を共有する

※Panoptoサイト管理者は、Zoom会議が参加者と自動的に共有される設定を実装している場合があります。
この設定は、管理者が「Zoom連携を設定する（2.1.i-j）」の項目に記載されている手順に従って調整できます。

6.1 共有したいZoom会議ビデオにカーソルを合わせて[設定]を選択します



6.2 設定画面の左にある、[共有]を選択します



6.3 [ユーザーを招待]の項目にて、[ミーティング参加者を追加]を選択すると、この会議の参加者が入力ボックスに自動的に追加されます。

[送信して変更を保存]を選択し、Zoom会議の参加者に会議の動画を共有します。

※追加された参加者以外に共有したいユーザーがいる場合は、このボックスにユーザー名等を入力し、ユーザーを検索して選択します

※[メールでユーザーに通知]にチェックを入れた状態で変更を保存すると、共有したユーザーに共有リンクが記載された通知メールが届きます



7. 自動共有とルーティング

※Panoptoユーザーは、管理者が許可している場合、定期的なZoom会議IDの自動ルーティングルールを設定できます。これにより、録画されたZoom動画は、指定されたフォルダに移動します。

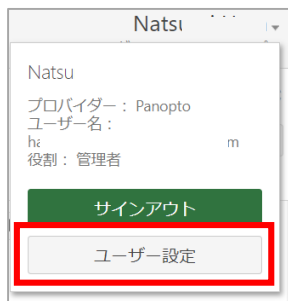
指定フォルダが事前に他のユーザーと共有されている場合、共有されたユーザーはZoom会議の動画を視聴できます。

詳細なルーティングルールが設定されていない場合、Panoptoのユーザーは、Zoom動画格納のデフォルトフォルダを指定することもできます。

※マッピングは、マッピング設定を持つPanoptoユーザーが、該当するZoom会議IDのプライマリホストである場合にのみ機能します。Zoomミーティングの共同主催者である場合は、フォルダマッピングは機能しません。

7.1 Panoptoサイトの右上からユーザー名を選択します

7.2 ドロップダウンメニューから、[ユーザー設定]を選択します



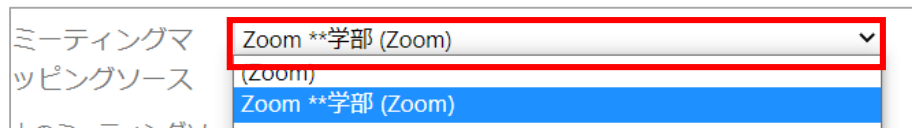
7.3 ミーティングインポート設定までスクロールします。



Zoom連携を使用する（自動共有・保存先設定）

7. 自動共有とルーティング

7.4 ドロップダウンから[ミーティングマッピングソース]を選択します。※連携設定が複数ある場合は、マッピング元となるZoom連携を選択します



7.5 [新規追加]を選択して、定期的なズーム会議のフォルダーマッピングを作成します



Zoom連携を使用する（自動共有・保存先設定）

7. 自動共有とルーティング

7.5 次の情報を入力します。

7.5.a ミーティングID：Zoom会議IDをテキストボックスに入力します（※半角スペースは入れず、連続した数字を入力します）

7.5.b フォルダを選択：[フォルダを選択]のドロップダウンから、この定期開催するZoom会議動画を格納するフォルダを選択します。
※フォルダーは、フォルダ名の入力によって検索も可能です

7.5.c 会議ID：[アクション]の下[保存]を選択してマッピングを保存します。保存しない場合はキャンセルを押してください。

ミーティング ID	フォルダー名	アクション
フォルダーマッピングがありません		
966*****	フォルダーを選択	保存 キャンセル

▲ID入力欄 ▲フォルダ選択欄

ミーティング ID	フォルダー名	アクション
966	社会学A	削除
新規を追加...		

▲マッピング保存完了